公益財団法人エコサイクル高知
令和8年7月31日　現在

概要

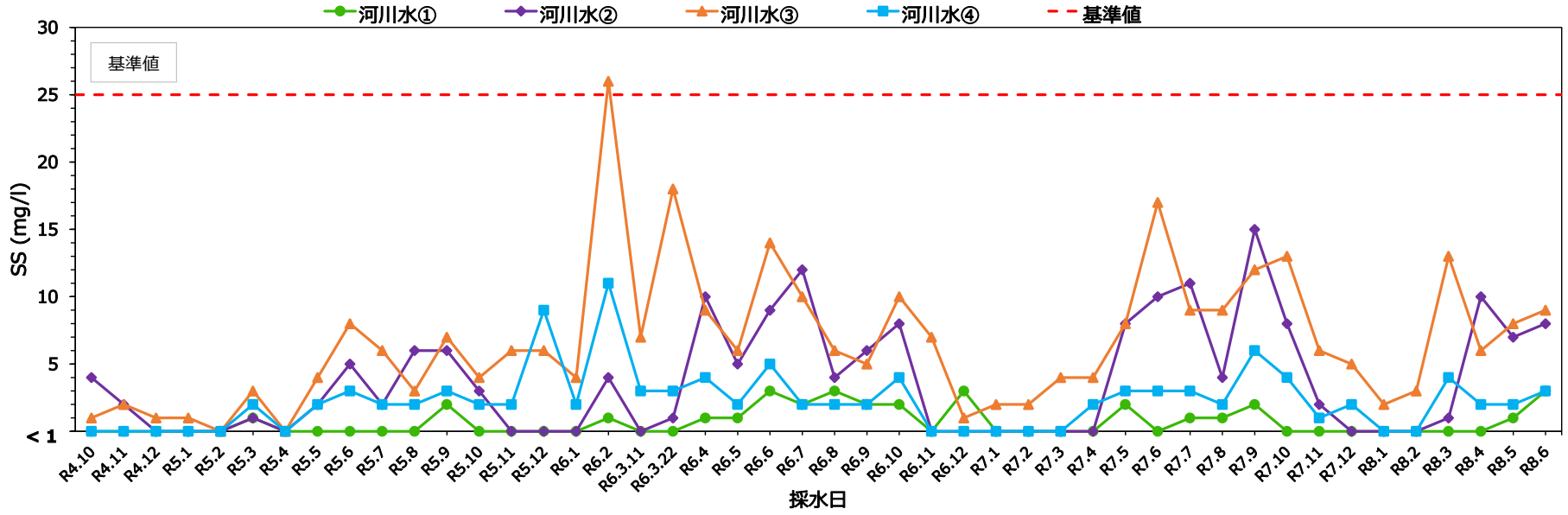
令和８年６月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:河川水の測定結果

測定業者:㈱東洋技研

測定地点	測定項目	採水日						環境影響評価調査時（R2.5～R3.2で４回測定）				基準値※
		R8.1.27	R8.2.20	R8.3.24	R8.4.22	R8.5.25	**R8.6.22**	R2.5.13	R2.8.25	R2.10.19	R3.2.12	
河川水①	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	1未満	1未満	1	**3**	1未満	1未満	1未満	1未満	25
	濁度（度）	0.3	0.4	0.4	0.7	1.0	**1.4**	0.6	0.4	0.6	0.2	-
河川水②	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	1	10	7	**8**	1	3	4	1未満	25
	濁度（度）	0.6	0.7	1.0	12.0	5.2	**5.2**	0.6	1.0	1.5	0.4	-
河川水③	浮遊物質量(mg/l)	2	3	13	6	8	**9**	1	4	2	1未満	25
	濁度（度）	3.2	4.3	8.5	3.8	5.7	**5.6**	1.1	1.0	1.1	0.7	-
河川水④	浮遊物質量(mg/l)	1未満	1未満	4	2	2	**3**	2	1未満	1	1未満	25
	濁度（度）	0.6	1.5	3.7	2.0	2.2	**2.2**	2.5	0.5	0.6	0.3	-

※環境影響評価に用いた指標。調査を行っている長竹川に基準はないため、本川（ほんせん）である日下川に指定されている水域類型「環境基準類型A型」の浮遊物質量
出典：「水質汚濁に係る環境基準（環境庁告示）」別表２ 生活環境の保全に関する環境基準。上記基準に基づき、水域類型を高知県知事が指定
なお、濁度は環境基準値がありませんが、浮遊物質量と相関が高いことから、あわせて測定しています。



図：河川水の測定結果（SS:浮遊物質量）

公益財団法人エコサイクル高知
令和8年7月31日　現在

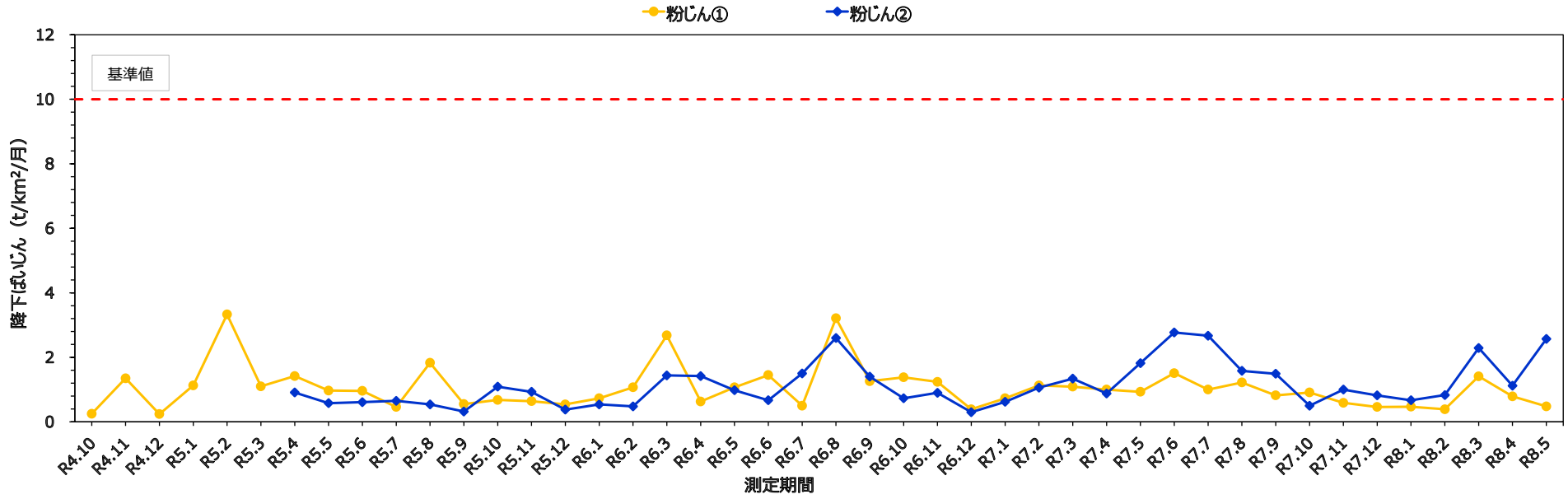
概要

令和８年６月の測定結果については、以下のとおりです。全ての地点で基準値を下回っておりました。

表:降下ばいじんの測定結果　　測定業者:㈱東洋技研

測定地点	測定項目	測定期間（1か月毎）						環境影響評価調査時※1（R2.2～R2.11で４回測定）				基準値※3
		R7.12.19～R８.1.27	R8.1.27～R８.2.20	R8.2.20～R８.3.24	R8.3.24～R８.4.22	R8.4.22～R８.5.25	**R8.5.25～R８.6.22**	R2.2.25～3.25	R2.4.20～5.19	R2.9.18～10.19	R2.11.2～11.30	
粉じん①	降下ばいじん（t/km^2/月）	0.46	0.47	0.39	1.41	0.79	**0.48**	1.14	1.90	0.30	0.56	10
粉じん②※2	降下ばいじん（t/km^2/月）	0.82	0.67	0.83	2.29	1.12	**2.57**					

※1　長竹公民館付近で測定。
※2　令和５年４月から測定。
※3　環境影響評価時に定めた参考指標（工事用車両の運行に係る降下ばいじん量の参考値。出典：「道路環境影響評価の技術手法（平成24年度版）」（国土交通省 国土技術政策総合研究所 平成25年3月））



図：降下ばいじんの測定結果